



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月9日

上場会社名 名古屋鉄道株式会社

上場取引所 東名

コード番号 9048 URL <https://top.meitetsu.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 高崎 裕樹

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務部長 (氏名) 川津 智典

TEL (052)588-0846

四半期報告書提出予定日 2023年11月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	283,728	7.8	15,900	56.2	17,293	47.8	9,980	28.8
2023年3月期第2四半期	263,125	17.3	10,180	—	11,701	363.3	7,746	661.8

(注)包括利益 2024年3月期第2四半期 18,767百万円 (133.9%) 2023年3月期第2四半期 8,022百万円 (257.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	50.78	47.45
2023年3月期第2四半期	39.42	36.83

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	1,237,918	444,016	33.9
2023年3月期	1,231,378	429,089	32.8

(参考)自己資本 2024年3月期第2四半期 419,154百万円 2023年3月期 404,433百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	25.00	25.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	594,000	7.7	30,000	32.0	32,000	21.4	21,000	11.4	106.85

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年3月期2Q	196,700,692 株	2023年3月期	196,700,692 株
------------	---------------	----------	---------------

② 期末自己株式数

2024年3月期2Q	106,248 株	2023年3月期	172,683 株
------------	-----------	----------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2024年3月期2Q	196,546,079 株	2023年3月期2Q	196,544,141 株
------------	---------------	------------	---------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、四半期決算短信(添付資料)P. 5「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

・四半期決算補足説明資料の入手方法について

四半期決算補足説明資料は、TDnetで同日開示するとともに、当社ホームページに掲載しております。

・四半期決算説明会の資料の入手方法について

当社は、2023年11月21日(火)に機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。

また、この説明会で配布する資料につきましては、開催後、速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

(参考)

2024年3月期の個別業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	96,700	7.0	10,500	53.5	12,000	41.6	9,100	25.2	46.28

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(四半期連結損益計算書関係)	11
(セグメント情報)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の営業収益は、不動産事業では減収となったものの、レジャー・サービス事業の需要回復や鉄軌道事業の輸送人員の増加などにより283,728百万円（前年同期比7.8%増）となりました。営業利益は、人件費や燃料費が増加したものの、増収により15,900百万円（前年同期比56.2%増）となりました。経常利益は、雇用調整助成金の減少などにより営業外損益が悪化したものの、営業増益により17,293百万円（前年同期比47.8%増）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、助成金返還引当金繰入額を計上したことにより特別損益が悪化したものの、経常増益により9,980百万円（前年同期比28.8%増）となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

①交通事業

交通事業の営業収益は、鉄軌道事業やバス事業における輸送人員の増加などにより72,636百万円（前年同期比12.2%増）となり、営業利益は、人件費や燃料費の増加があったものの、増収により8,063百万円（前年同期比197.4%増）となりました。

（業種別営業成績表）

	営業収益			営業利益		
	当第2四半期	前第2四半期	増減率	当第2四半期	前第2四半期	増減率
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
鉄軌道事業	43,934	39,664	10.8	6,340	2,769	128.9
バス事業	19,160	16,637	15.2	1,242	△169	—
タクシー事業	10,547	9,272	13.7	391	40	856.7
調整額	△1,005	△847	—	88	69	—
計	72,636	64,727	12.2	8,063	2,710	197.4

②運送事業

運送事業の営業収益は、トラック事業における国際貨物事業では減収となったものの、海運事業の増収により69,347百万円（前年同期比0.9%増）となりました。一方、営業利益は、人件費や燃料費の増加に加え、トラック事業における運送委託料の増加により994百万円（前年同期比48.4%減）となりました。

（業種別営業成績表）

	営業収益			営業利益		
	当第2四半期	前第2四半期	増減率	当第2四半期	前第2四半期	増減率
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
トラック事業	76,545	76,899	△0.5	293	904	△67.6
海運事業	9,100	8,663	5.0	639	1,019	△37.3
調整額	△16,298	△16,857	—	61	3	—
計	69,347	68,705	0.9	994	1,928	△48.4

③不動産事業

不動産事業の営業収益は、不動産賃貸業は増収となったものの、分譲マンション販売の引渡戸数の減少により45,517百万円（前年同期比4.3%減）となりました。一方、営業利益は、不動産賃貸業の増益などにより6,682百万円（前年同期比0.8%増）となりました。

（業種別営業成績表）

	営業収益			営業利益		
	当第2四半期	前第2四半期	増減率	当第2四半期	前第2四半期	増減率
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
不動産賃貸業	25,783	24,137	6.8	5,316	4,623	15.0
不動産分譲業	17,090	20,309	△15.8	1,081	1,769	△38.9
不動産管理業	6,837	6,577	4.0	291	218	33.2
調整額	△4,194	△3,467	—	△6	16	—
計	45,517	47,556	△4.3	6,682	6,627	0.8

④レジャー・サービス事業

レジャー・サービス事業の営業収益は、観光需要の回復により、旅行業やホテル業を中心に増収し48,365百万円（前年同期比32.5%増）となり、営業損益は、ホテル業の収支改善に加え、旅行業の増益などにより前年同期に比べ2,356百万円収支改善し1,824百万円の利益となりました。

（業種別営業成績表）

	営業収益			営業利益		
	当第2四半期	前第2四半期	増減率	当第2四半期	前第2四半期	増減率
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
ホテル業	10,149	6,946	46.1	△121	△1,654	—
観光施設事業	10,149	8,969	13.2	681	362	88.0
旅行業	28,361	20,871	35.9	1,274	779	63.6
調整額	△294	△299	—	△10	△18	—
計	48,365	36,488	32.5	1,824	△531	—

⑤流通事業

流通事業の営業収益は、百貨店業の増収に加え、その他物品販売業で前期に連結加入した子会社の収入が寄与し31,666百万円（前年同期比2.9%増）となりました。一方、営業損失は、輸入車販売業の収支悪化などにより前年同期に比べ431百万円収支悪化し1,902百万円となりました。

（業種別営業成績表）

	営業収益			営業利益		
	当第2四半期	前第2四半期	増減率	当第2四半期	前第2四半期	増減率
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
百貨店業	8,458	8,108	4.3	△1,486	△1,355	—
その他物品販売	23,336	22,709	2.8	△346	86	—
調整額	△128	△46	—	△69	△202	—
計	31,666	30,771	2.9	△1,902	△1,471	—

⑥航空関連サービス事業

航空関連サービス事業の営業収益は、航空整備事業や機内食事業の受注増加により11,941百万円（前年同期比6.4%増）となりました。一方、営業損益は、修繕費の増加などにより前年同期から676百万円収支悪化し325百万円の損失となりました。

（業種別営業成績表）

	営業収益			営業利益		
	当第2四半期	前第2四半期	増減率	当第2四半期	前第2四半期	増減率
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
航空関連サービス事業	12,086	11,387	6.1	△331	350	—
調整額	△144	△159	—	6	0	—
計	11,941	11,228	6.4	△325	351	—

⑦その他の事業

その他の事業の営業収益は、システム関連の受注増加などにより21,725百万円（前年同期比7.6%増）となりました。一方、営業利益は、新規事業における開業準備費の計上などにより481百万円（前年同期比7.8%減）となりました。

（業種別営業成績表）

	営業収益			営業利益		
	当第2四半期	前第2四半期	増減率	当第2四半期	前第2四半期	増減率
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
設備保守整備事業	9,944	9,485	4.8	△184	△198	—
その他事業	12,247	11,065	10.7	662	717	△7.6
調整額	△466	△362	—	3	3	—
計	21,725	20,188	7.6	481	522	△7.8

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、現金及び預金が減少した一方、保有上場株式の時価上昇により投資有価証券が増加したことに加え、設備投資により有形固定資産が増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ6,539百万円増加し1,237,918百万円となりました。

負債は、鉄道高架化工事に関する工事負担金等の前受金が増加した一方、設備工事代金の支払等により支払手形及び買掛金が減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べ8,387百万円減少し793,902百万円となりました。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加などにより、前連結会計年度末に比べ14,926百万円増加し444,016百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の通期の連結業績予想につきましては、第2四半期までの業績及び最近の情勢等を踏まえ、前回公表時(2023年5月11日)より変更しております。

今回の2024年3月期の連結業績予想につきましては、賃貸物件の売却を見込む不動産事業や需要回復傾向にあるレジャー・サービス事業、交通事業で増収となり、営業収益は、全体で594,000百万円(前回予想比1.0%増)を見込んでおります。営業利益は、増収により30,000百万円(前回予想比13.2%増)を見込んでおります。経常利益は、持分法による投資利益の増加により営業外損益が改善し、32,000百万円(前回予想比16.4%増)を見込んでおります。親会社株主に帰属する当期純利益は、特別損益の悪化や、法人税等の増加により、前回予想と同額の21,000百万円を見込んでおります。

業績予想につきましては、発表日現在で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	55,291	41,917
受取手形、売掛金及び契約資産	61,109	59,175
短期貸付金	1,834	1,829
分譲土地建物	77,275	77,184
商品及び製品	6,273	6,256
仕掛品	670	1,473
原材料及び貯蔵品	5,311	5,551
その他	19,411	23,512
貸倒引当金	△276	△238
流動資産合計	226,902	216,662
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	301,878	302,537
機械装置及び運搬具（純額）	78,931	78,834
土地	371,293	371,895
リース資産（純額）	10,355	9,947
建設仮勘定	82,424	89,644
その他（純額）	9,142	8,805
有形固定資産合計	854,026	861,664
無形固定資産		
施設利用権	7,063	6,814
のれん	1,397	1,227
リース資産	275	246
その他	3,116	3,270
無形固定資産合計	11,853	11,559
投資その他の資産		
投資有価証券	104,030	116,883
長期貸付金	358	322
繰延税金資産	17,769	13,679
その他	16,930	17,672
貸倒引当金	△493	△525
投資その他の資産合計	138,596	148,032
固定資産合計	1,004,476	1,021,256
資産合計	1,231,378	1,237,918

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	73,388	55,633
短期借入金	52,876	48,439
コマーシャル・ペーパー	10,000	7,000
1年内償還予定の社債	30,080	10,000
リース債務	1,490	1,620
未払法人税等	5,868	3,853
従業員預り金	20,383	20,347
賞与引当金	5,698	6,033
整理損失引当金	301	283
商品券等引換引当金	360	367
その他	103,619	115,127
流動負債合計	304,067	268,705
固定負債		
社債	215,000	240,000
長期借入金	155,949	159,497
リース債務	10,678	10,100
繰延税金負債	3,882	4,248
再評価に係る繰延税金負債	55,506	55,504
整理損失引当金	5,560	3,713
退職給付に係る負債	32,539	32,841
その他	19,103	19,288
固定負債合計	498,221	525,196
負債合計	802,289	793,902
純資産の部		
株主資本		
資本金	101,158	101,158
資本剰余金	40,144	40,207
利益剰余金	158,112	164,053
自己株式	△365	△210
株主資本合計	299,050	305,209
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	16,490	24,609
繰延ヘッジ損益	143	566
土地再評価差額金	87,683	87,771
為替換算調整勘定	11	28
退職給付に係る調整累計額	1,053	969
その他の包括利益累計額合計	105,382	113,945
非支配株主持分	24,655	24,861
純資産合計	429,089	444,016
負債純資産合計	1,231,378	1,237,918

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)
営業収益	263,125	283,728
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	229,142	241,588
販売費及び一般管理費	23,801	26,239
営業費合計	252,944	267,827
営業利益	10,180	15,900
営業外収益		
受取利息	13	21
受取配当金	685	757
持分法による投資利益	1,121	1,262
雇用調整助成金	577	36
雑収入	875	1,009
営業外収益合計	3,273	3,087
営業外費用		
支払利息	1,406	1,482
整理損失引当金繰入額	95	-
雑支出	250	211
営業外費用合計	1,752	1,694
経常利益	11,701	17,293
特別利益		
固定資産売却益	341	545
工事負担金等受入額	328	419
投資有価証券売却益	408	73
その他	238	115
特別利益合計	1,317	1,153
特別損失		
固定資産売却損	20	23
減損損失	119	152
固定資産除却損	187	158
投資有価証券売却損	160	-
投資有価証券評価損	32	49
工事負担金等圧縮額	248	337
助成金返還引当金繰入額	-	※1 2,288
その他	72	686
特別損失合計	841	3,694
税金等調整前四半期純利益	12,177	14,753
法人税、住民税及び事業税	3,877	3,807
法人税等調整額	321	780
法人税等合計	4,199	4,587
四半期純利益	7,977	10,165
非支配株主に帰属する四半期純利益	230	185
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,746	9,980

【四半期連結包括利益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	7,977	10,165
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	537	7,757
繰延ヘッジ損益	△321	436
為替換算調整勘定	37	17
退職給付に係る調整額	△58	△89
持分法適用会社に対する持分相当額	△150	481
その他の包括利益合計	44	8,602
四半期包括利益	8,022	18,767
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,785	18,454
非支配株主に係る四半期包括利益	236	312

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	12,177	14,753
減価償却費	18,916	18,902
減損損失	119	152
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	44	173
賞与引当金の増減額 (△は減少)	445	335
整理損失引当金の増減額 (△は減少)	△333	△1,865
その他の引当金の増減額 (△は減少)	△1,092	2,737
投資有価証券売却損益 (△は益)	△214	△24
売上債権の増減額 (△は増加)	311	589
棚卸資産の増減額 (△は増加)	290	863
仕入債務の増減額 (△は減少)	△4,863	△8,858
その他	1,243	△3,461
小計	27,043	24,297
利息及び配当金の受取額	1,479	1,623
利息の支払額	△1,388	△1,452
雇用調整助成金の受取額	689	43
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△5,215	△5,481
営業活動によるキャッシュ・フロー	22,608	19,031
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△35,901	△35,400
固定資産の売却による収入	642	755
投資有価証券の取得による支出	△310	△872
投資有価証券の売却及び償還による収入	537	139
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△2,312	-
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	△586	-
工事負担金等受入による収入	8,153	6,754
その他	△6	18
投資活動によるキャッシュ・フロー	△29,783	△28,604
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額 (△は減少)	6,961	748
コマーシャル・ペーパーの増減額 (△は減少)	△11,000	△3,000
長期借入れによる収入	6,856	7,917
長期借入金の返済による支出	△8,889	△9,633
社債の発行による収入	9,950	24,885
社債の償還による支出	-	△20,000
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△2,241	△0
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の売却による収入	-	92
配当金の支払額	△2,458	△3,916
その他	△1,209	△848
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,029	△3,756
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	9
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△9,206	△13,319
現金及び現金同等物の期首残高	50,430	54,879
現金及び現金同等物の四半期末残高	41,224	41,559

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

※1 助成金返還引当金繰入額

当社連結子会社の名鉄観光サービス(株)が既に受給した雇用調整助成金のうち、返還予定の金額を計上したものであります。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	交通事業	運送事業	不動産 事業	レジャー ・サービス 事業	流通事業	航空関連 サービス 事業	その他の 事業 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
営業収益										
外部顧客に対する営業収益	63,326	68,517	42,487	36,292	28,769	11,228	12,504	263,125	—	263,125
セグメント間の内部営業収益又は振替高	1,401	187	5,069	196	2,002	—	7,684	16,541	△16,541	—
計	64,727	68,705	47,556	36,488	30,771	11,228	20,188	279,666	△16,541	263,125
セグメント利益又は損失(△)	2,710	1,928	6,627	△531	△1,471	351	522	10,137	42	10,180

(注)1 「その他の事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、以下の事業セグメントを含んでおります。

設備の保守・整備、情報処理業、保険代理業等

2 セグメント利益又は損失の調整額42百万円は、セグメント間取引消去額であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	交通事業	運送事業	不動産 事業	レジャー ・サービス 事業	流通事業	航空関連 サービス 事業	その他の 事業 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
営業収益										
外部顧客に対する営業収益	71,307	69,143	39,970	48,128	30,156	11,933	13,087	283,728	—	283,728
セグメント間の内部営業収益又は振替高	1,328	204	5,546	236	1,510	8	8,638	17,472	△17,472	—
計	72,636	69,347	45,517	48,365	31,666	11,941	21,725	301,201	△17,472	283,728
セグメント利益又は損失(△)	8,063	994	6,682	1,824	△1,902	△325	481	15,819	81	15,900

(注)1 「その他の事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、以下の事業セグメントを含んでおります。

設備の保守・整備、情報処理業、保険代理業等

2 セグメント利益又は損失の調整額81百万円は、セグメント間取引消去額であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。